

市の人口
(12月1日現在)

世帯数
12,973世帯 42世帯増
人口
男 23,250人 55人増
女 23,973人 31人増
計 47,223人 86人増

市報



発行: 石岡市役所

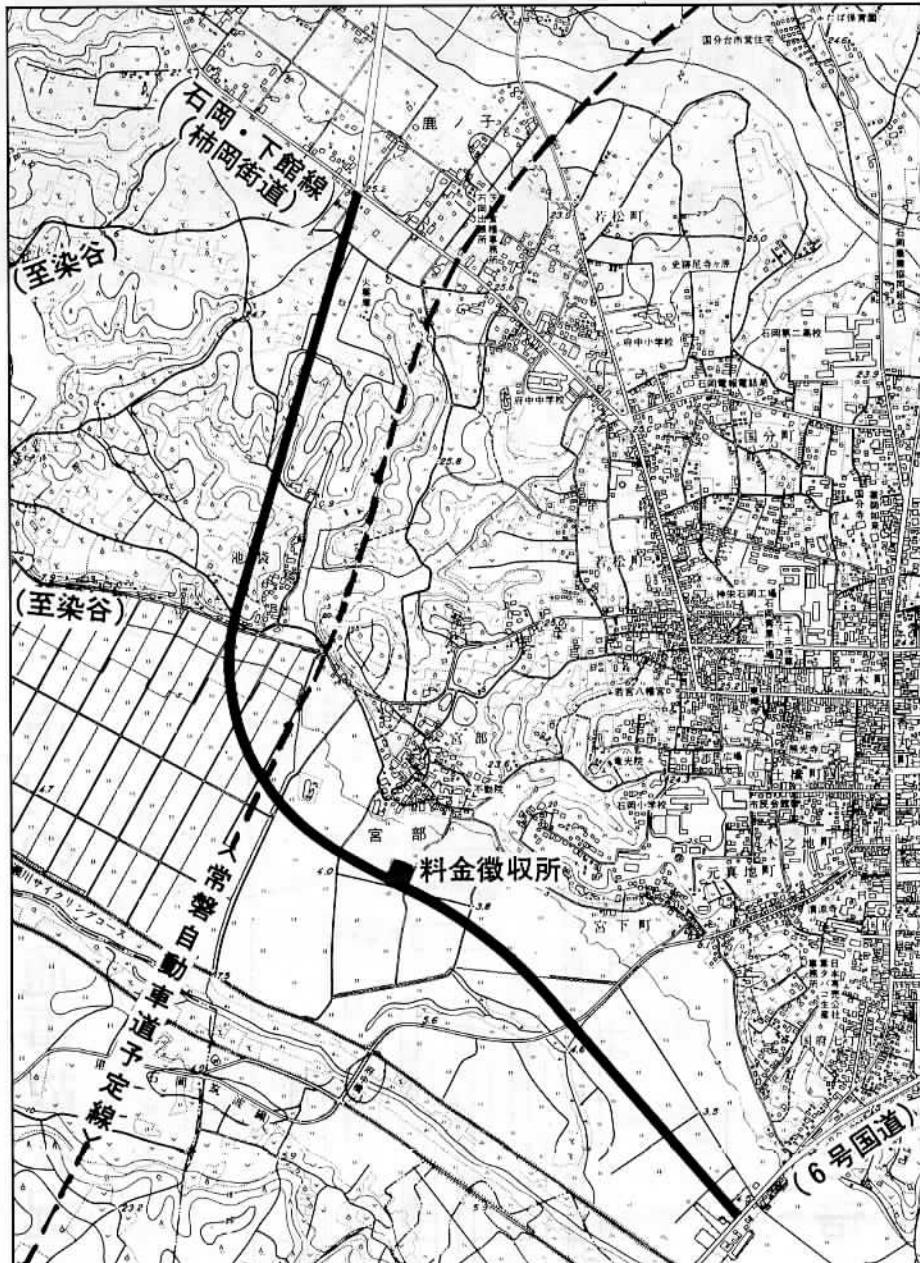
編集: 企画室広報公聴係
印刷: 長谷川印刷所

12月号

—285—

石岡市民憲章

- しごとに誇りをもち、栄えるまちをつくります。
- きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- からだをきたえ、明るいまちをつくります。
- 教養をたかめ、文化のまちをつくります。
- たがいに助けあい、楽しいまちをつくります。



十二月四日から七日まで台地の地域に
幅杭打ちが行われました。

この道路は、県の道路公社が施工し、県道(石岡・下館線)柿岡街道を基点に、六号国道幸町坂下までの、延長約三キロメートル、二車線の道路で、宮部下に料金徴収所が設けられます。

この道路の完成により、現在の中心市街地を通る地方幹線道のバイパスとして役割をはたせるため、市街地の混雑の解消に、

和五十三年度から五十五年度の県當継続事業として決定し、その後地元との協議を進めておりましたが、このたび全線の了解が得られ、幅杭が打たれ、本格的な工事が進められることになりました。

石岡有料道路は、昨年度、昭和54年度は用地買収に

中心市街部の交通緩和めざす 石岡有料道路 いよいよ用地買収に

▼とじて保存しましょう▲

大きな役割をはなすものと期待されております。今後は次のような工程で工事が進められます。

◆工事期間

昭和54年度から昭和55年度
は建設工事。

昭和53年度は用地買収。

昭和56年4月に使用開始。

◆どのような道路か

この道路は、全線車道は二車線で、基点の鹿の子地内(柿岡街道)から、市街化区域内(染谷

香丸通りに歩道を新設する問題は、長い間の大きな課題であ

りました。地元の対策協議会(永山貴

会長)では、これまで相談に相

談を重ね、市や商工会議所等とも協議を続けてきた結果、このほど次のような方法で実現できるよう、関係者の連署をもつて

県に対し陳情を行いました。県においても、その趣旨を了承して、実現に努力する旨、回答があり、この問題は大きく前進することになりました。

その内容は

◆都市計画の道路幅員十六メー

トル(歩道三メートル)を確保するため、各人が建物を自費で削る。

◆拡幅した道路用地(歩道分も含む)は、県がこれを買収したうえ、歩道新設工事を行う。

以上のような内容です。

この問題は、正規の都市計画事業で施工することになると、延長三百メートル程の歩道をつくるために、家屋移転補償など

さる十二月一日、市役所都市開発部内に、石岡有料道路建設事務所が設置され、四名の職員を配置し、今後の工事を進めることになりました。

電話(一一一内線三四九

谷に通じる市道)までは、両側に歩道を設置して、ここから六号国道幸町坂下までの市街化調整区域内は、両側に農作業用の側道が設けられます。

「県道路公社」石岡有料道路建設事務所が発足

杉並小屋内運動場が完成

今年の6月より工事を進めておりました、杉並小屋内運動場が完成し、さる12月6日関係者多数を招き竣工式を行いました。

この屋内運動場は、894 平方メートルの鉄骨2階建で、中はバトミントンコート2面、ミニバスケット、バレーコート各1面がとれる施設です。

7月のプール完成に続き、本施設の完成で、児童たちは大変よろこんでおりました。



さる12月6日竣工式が行われた杉並小屋内運動場

がかかる、数十億の経費がかかるため、実現できず今日に至っていたものです。地元関係者の熱意で、都市計画だけに頼らず、自分たちも一部の負担をして、実現させようということになつたのです。なお、市では個人の負担をなくべく軽くするよう、あらゆる努力をして行く考えです。



交通事故に対するマニエリ化
もつ間にあいません。
交通事故に対するマニエリ化

師走の風は冷たく交通事故は
ますますきびしくなつて参りました。
あわだしくなると道ゆく人
ドライバーは落着きを失い、不
注意になつて、交通事故は急増
いたします。

「交通戦争」「車社会」と安閑
としてはいられない現状におか
れても、自分だけは事故にあわ
ないと、他人ごとのように思つ
ている方が多いのではないでし
ょ。うか。

一寸した不注意で平穏な家庭
も一瞬のうちに闇につままれて
しまうのです。事故にあつたら
交通事故に対するマニエリ化

一寸した不注意で平穏な家庭
も一瞬のうちに闇につままれて
しまうのです。事故にあつたら
交通事故に対するマニエリ化

「原付自転車の自賠責保険料(共済掛金)」
「保険金(共済金)の支払限度額」
「あなたの原付自転車は自賠責
保険に加入していますか」

「原付自転車の自賠責保険料(共済掛金)」
「保険金(共済金)の支払限度額」
「あなたの原付自転車は自賠責
保険に加入していますか」

「原付自転車の自賠責保険料(共済掛金)」
「保険金(共済金)の支払限度額」
「あなたの原付自転車は自賠責
保険に加入していますか」

“みんなそろって明るいお正月を” は、スピード違反・わき見運転 酒酔い運転が過半数

死亡事故



十二月は、一年のうちで、最も交通事故の多い月です。昨年一年間の交通事故による死者は、全国で八、九五〇人もあり、十二月は、八五〇人も尊い生命が犠牲となつています。

今年の交通事故死者を見ますと(十月末現在)茨城県は全国で八番目、二七五人が亡くなっています。

いま「くらしの中の交通安全」が叫ばれています。このない手となるのが、私たち母親ではないでしょうか。

嘆かわしいことに、転ばぬ先の杖となるべき若い母親が、ルール違反のトップだというのであります。悲惨な交通事故、新聞に報道されない日はありません。

「初心忘るべからず」という言葉がありますが、ハンドルを握る方も、最初の安全運転を

恐るべき統計がでております。

ひとりひとりが正しい交通ル

ルを守らない限り、決して事

故はなくなりません。

「初心忘るべからず」という言葉がありますが、ハンドルを握る

方、飲酒運転などできるわけは

ないのです。

主婦は交通安全のよき操縦者

として先生でなくはなりません。

家族団らんのひととき、危

険な場所や事故の恐ろしさなど

ますますきびしくなつて参りました。

あわだしくなると道ゆく人

ドライバーは落着きを失い、不

注意になつて、交通事故は急増

いたします。

「交通戦争」「車社会」と安閑

としてはいられない現状におか

れても、自分だけは事故にあわ

ないと、他人ごとのように思つ

ている方が多いのではないでし

ょ。うか。

もつ間にあいません。

交通事故に対するマニエリ化

もつ間にあいません。

